（様式2） 実行計画管理シート

事業名	164	電子自治体推進事業＜オープンデータ利活用の促進等＞	部・課	総務部　情報推進課

総合計画との関係	基本目標等		市民等がまちづくりに参画しやすい環境づくりの推進
	施策目標等		29　市民との情報の共有化を進めます
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		1　市民、市民団体、事業者、行政が連携し、支えあうまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	市民による各種行政データの利活用を促進するため、いわゆるオープンデータを提供するとともに、効果的な利活用ができるよう、市民参加によるアプリケーション開発にも取り組む。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	行政サービス向上・官民協働によるまちづくりの推進・行政事務の効率化を図るため、オープンデータの拡充や自治体クラウド等の推進などの情報通信技術を活用した取り組みを推進する。 【拡充】 　他市の取り組み事例の調査や、試用版アプリケーション等の活用による効果測定などを実施し、オープンデータの利活用の促進を図る。また、タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを導入することで、紙の使用量抑制や、資料紛失等による情報漏洩のリスク低減を図る。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		GISについては、平成27年度において、活用事例収集や仕様作成など更改へ向けた準備を行った。オープンデータについては、平成27年度よりデータの公開を開始し、利活用推進のための市民参加によるアプリ制作イベントを開催した。 また、本市の基幹業務システムに関しては、従来の大型汎用機から特定ベンダに依存しないオープンシステムへ移行、ベンダ囲い込みからの脱却等によるコスト削減を進めてきた。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	①総合型GISの再構築の実施 ②オープンデータの拡充 ③自治体クラウドの導入に向けた調査等の取り組み及び、情報システムの仮想化の調査・検討・実施 【拡充】 ④市民等が作成したアプリケーション等の活用事例の紹介 ⑤オープンデータの活用事例について調査・研究・説明会実施及び庁内向けアプリケーション等の活用による効果測定 ⑥市民参加型オープンデータイベントの実施・評価・検証 ⑦会議資料のペーパーレス化について試行版ペーパーレス会議システムの導入を行い、調査・検討
	実績（評価）	①地図情報（GIS）システムの再構築を行い平成28年12月より稼動した。新GISでは、新たに住民情報を搭載し、統計情報と地図を視覚的に確認できるようになった。 ②オープンデータ推進を図るため庁内検討部会を開き、取組状況報告や意見交換を実施。加えて、オープンデータ推進に関するガイドラインの作成を行った。 今年度のデータ拡充については、「市長への提言」や「農産物のふれあい朝市」等を拡充し、現在25種/257ファイルのデータを公開している。 ③自治体クラウドの候補団体の調査、費用対効果等の調査分析を行った。情報システムの仮想化については、平成29年3月から仮想化統合基盤の構築に着手した。 ④市ホームページ上のアンケートで、活用事例を募集した。市民からのアンケート投稿より、1件の事例を市ホームページで紹介した。 ⑤J－LIS（地方公共団体情報システム機構）研究会に参加し、全国の自治体職員参加者等と事例調査・情報収集や意見交換を行った。また、先進市である宇部市へ視察へ行き情報交換を行った。「アプリ制作イベント」での成果である試行版アプリケーションの効果測定については次年度への課題とする。 ⑥平成29年2月に「アプリ制作イベント」を実施し24人が参加した。またイベントでの成果を試行版アプリとして採用した。 ⑦庁内の一部部署の会議体で、タブレット端末を利用したペーパーレス会議を試行的に実施。試行結果から、紙資料の抑制や資料印刷・差替等の時間短縮など、一定の効果が得られることを確認した。

2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	①統合型GISの利活用の促進 ②③→推進 【拡充】 ④→推進 ⑤⑥検証結果を踏まえた取り組みの推進 ⑦会議資料のペーパーレス化についてシステムの整備・導入
	実績・評価	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	①③→推進 【拡充】 ④→推進 ⑦ペーパーレス会議の拡充・利用促進
	実績・評価	
2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績・評価	
備考		

課題	・統合型GISにおける住民情報の庁内での活用実績が無いため、周知に力を入れる必要がある。 ・オープンデータの取り組みの⑤について、試行版アプリの機能改良と検証が残っている。 ・自治体クラウドは、導入に向けて調査を継続させるとともに、計画的な準備と他市との連携が必要である。 ・ペーパレス会議において、視認性確保と操作のスキルを向上に向けた技術面での調整等が必要である。		
今後の対応	・統合型GISは、他市事例を含めた活用研修や庁内の運用検討会等を通じて、システムの活用促進の向上を図る。 ・オープンデータは、データの種類の拡充を継続して行うとともに、イベントにより作成されたアプリケーションを、試行版アプリとして、市内大学との協働により機能改良及び検証を行い、利活用の促進を図る。 ・自治体クラウドは、導入に積極的な府内自治体と意見交換を進めるなど実現に向け、引き続き調査・検討を進める。 ・仮想化統合基盤は、順次、仮想基盤へ業務システムの移行を行っていく。 ・ペーパレス会議システムの本格導入に向け、資料の視認性確保等の検討を行う。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
オープンデータ公開件数		0	23/38	27/257				－	件
指標の説明		指標の実績（評価）							
市ホームページ等で公開したオープンデータの件数		順当に遂行できている。 ※指標の説明：●●/■■の、●●は「データの種類（ジャンル）数」、■■は、「データのファイル数」							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付率	○	2.5	6.9	11.8				9.3	%
指標の説明		指標の実績（評価）							
粗大ごみ戸別収集のインターネット予約受付件数／粗大ごみ戸別収集の予約受付件数		順当に遂行できている。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
住民票等のコンビニ交付件数	○	14641	13220	15641				28230	件
指標の説明		指標の実績（評価）							
住民票・印鑑証明書・課税証明書・戸籍証明書のコンビニ交付件数		順当に遂行できている。							

指標名	施策指標	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明		指標の実績（評価）							

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	5,904						5,904
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）